



〒010-0521
 男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
 TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
 URL: www.namahage.ne.jp/~miranami/jh/
校報通算 第245号

学校は前期が終了！そして後期へ

校長 加藤 和彦

学校は10月9日に前期終業式を行います。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校における諸行事は中止や延期、内容変更などの対応を余儀なくされてきました。

学校において、学校行事は重要な位置付けにあります。それは、日頃の学校生活以上に生徒たちが成長できるチャンスにあるからです。生徒たちは学校行事へ取り組む中で、集団の中での認め合いや協力、切磋琢磨することを通して、一人一人の資質や能力を伸ばしたり、様々なことを感じ取ったりします。

たとえば合唱コンクールであれば、どうすればクラスの仲間が協力して、気持ちを一つにして取り組めるのかなどを考えることとなり、その過程の中から仲間と協力する難しさとともに仲間と支え合うことの喜びを感じ取るようになります。また、3年間の学年ごとに成長していく姿も感じ取ることができます。3年生はこれまでの経験を生かし、パートリーダー、指揮者、伴奏者が中心となり、中学校生活最後の合唱に気持ちを込めていきます。



自由曲「手紙 ～拝啓十五の君へ～」を歌う3年生

2年生は昨年度の経験を踏まえ、より質の高い合唱を創り上げていこうとします。1年生は初めての合唱に緊張しながらも、上級生の姿を見て、仲間と協力することの大切さを学んでいくこととなります。今年の南光祭の合唱コンクールにおいても、各学級は素晴らしい合唱を披露し、行事を通じた確実な成長が見られたことをうれしく、そして頼もしく感じています。

今後も「コロナ禍における学校運営」が続くこととなりますが、生徒たちの健康・安全を最優先しながら、確かな成長につながる支援となるよう創意工夫してまいります。

3年生たちの南光祭

3年生にとっては最後の「南光祭」。これまでの体験を踏まえ、いろいろチャレンジしたいこともあったのではと思いますが、今年は規模を縮小しての開催。そのような中においても、現状を受け止め、前向きに取り組む、そして楽しもうとする3年生たちの姿がありました。各部門の活動ではリーダーシップを発揮する3年生たちを、2年生が頼もしく感じていたようです。



開催式で「全校制作」を披露

南光祭を終えての3年生の感想を紹介します。

- 最後の南光祭は準備も本番もとても楽しかったです。準備期間は短かったですが、その分団結できました。
- 出店コーナーがなく悲しかったですが、だからこそ合唱や劇で来校者の方々を「おもてなし」しようと思った。
- 午前開催で物足りない感があったが、合唱や学年発表で盛り上がり、とても良かった。
- 全校制作ではしっかりとリーダーシップをとりながら完成させることができた。
- 学年発表の劇では本番で最



入場口には看板を設置

高の演技ができてよかった。
 ○みんなで練習や準備を頑張ることができてよかった。最初は難しかった合唱も練習により上手になり、本番でも良い合唱を披露できた。
 ○今回は来校者が少なかったけど、自分が成長した姿を見せることができてよかった。

秋季大会が開催されました

9月19,20日、秋季大会が行われました。新チームの初公式戦となります。結果は裏面に掲載の通りとなりますが、個人、団体ともに地区大会を勝ち抜き、県大会出場まであと一歩という競技もあるようです。今後の南中生の頑張りにご期待ください。

【男鹿南中学校体育文化後援会より】

7月に地域の皆様へ本後援会へのご寄付をお願いしたところ、11名の個人及び事業所様、9地区（町内会）様より、

総額 305,700円

のご協力をいただきました。今後の南中生徒たちの活動の支援に利用させていただきます。なお、この度のご寄付等につきましては、年度末に改めてご報告をいたします。ご協力ありがとうございました。